

元国連事務次長

明石 康氏

あかし・やすし

1931年、秋田県生まれ。東京大学教養学部卒業。57年に日本人初の国連専門職員となり、以後国際舞台でさまざまな要職に担い続け、現在、スリランカ平和構築及び復旧・復興担当日本政府代表、立命館大学客員教授などを務める。

国際教養大学長予定者

中嶋嶺雄氏

なかしま・みねお

1936年、長野県松本市生まれ。東京外国語大学中国科卒業後、東京大学で国際学修士、社会学博士の学位を得る。東京外国語大学教授を経て95-01年東京外国語大学長。専門は国際関係論・現代中国学・アジア地域研究。

アンケート&プレゼント

この紙面に対するご意見・ご感想をお寄せください。抽選で10名様に秋田特産種蒔豆などをプレゼントいたします(広告主提供)。

■応募方法

郵便番号、住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号を明記し、ご意見・ご感想を添えて、官製はがきかFAXにて下記宛て先までご応募ください。インターネットでも受け付けます。

■あて先

【はがき】〒104-8665 東京京橋局私書箱303

朝日新聞東京本社広告局「国際教養大学」係

【FAX】03-5972-6634

(「国際教養大学」係と明記してください)

【インターネット】<http://www.asahi.com/e-post/>

■締め切り 7月19日(日)当日消印有効

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

てこられるのか、という問題は議論になりました。

中嶋 最初は「原則として」英語で授業をする、となっていたのですが、私はその「原則として」を取ってくださると申し上げました。初めから「全部」英語でないとだめだと。学生は中学、高校と英語を学んできたのだから、うまく誘導してやるのと立派にできるんです。先日、キャンパスツアーで英語の模擬授業

世界にはばたくリーダーが輩出する日本の「大学町」を秋田につくりたい

国際教養大学長予定者

中嶋嶺雄氏

をしたところ、「英語に、より興味があるが沸いた」「毎日英語と聞いて不安はあがるが楽しかった」という声を多く聞きました。英語で行うという怖さから解放してあげることが大切なのです。カリキュラムは確かにハードですが、まず前期2年間の最初に学ぶ「コミュニケーション科目ではEAP」というアカデミック英語のほか、スピーチ・コミュニケーションの基礎、リスニング、英作文などがあります。だからしっかりと勉強すれば、CNNの英語放送も十分理解できるようになるでしょう。

明石 今の大学教育がそうですが、あまり早い時期に専門領域を狭めないで、語学教育と一般教養を重視しながら、それを国際的な目地としていけばいいと思う。

中嶋 前期のグローバル科目(教養)では、国際社会を理解する基礎を勉強していきます。全世界から募った教員の6割以上が外国人というのも特長です。明石さんにも「紛争予防外交論」という授業をお願いしました。そして後期には、全員に1年間の留学を義務づけます。アメリカや中国などの大学と提携したこと、単位互換やデュアル・

資格が得られるのも実現します。寺田 これらを4年間でクリアするのは大変ですが、国際社会でもかなり通用すると思います。

——国際社会で活躍するには、どんな人材が求められるのでしょうか。

明石 国籍やバックグラウンドも違う人たちと協力して仕事を組み立てられる人、自分の意思や希

望を他の人に伝え、その人の考えもよく理解しながら進めていける人ですね。グローバル化時代というのは、それぞれの民族や文化に属する人たちがアイデンティティを自覚する時代でもあって、互いのアイデンティティを尊重するところから寛容の精神や国際交流が生まれてくるわけです。

中嶋 卒業後の進路としても、国際機関やジャーナリスト、NGOや

国際的視野をもった教養と語学力を若いうちに身につけることが大切

元国連事務次長

明石 康氏

地域の専門家、通訳翻訳家、大学や研究機関などの教職、あるいは

ビジネス分野では、サービス・流通業、都市開発、貿易商社などへの道がひらかれることを期待します。

寺田 海外で活動したり、あるいは東京で就職する卒業生も出てくるでしょう。何割かは故郷で働きたいという人がいると思うし、秋

田県内の企業でも国際化に対応するため人材を必要としているところはなくありません。国際的に通用し、さらにグローバル化をめざす秋田で拠点となるのがこの大学の目標ですが、卒業生たちに

国際教養大学(英語名:Akita International University)の概要

ミネソタ州立大学秋田校の跡地を利用して、全国で初めての地方独立行政法人の大学としてスタートする意向だ。国際教養学部のみから成り、定員は100人と少数精鋭。グローバル・ビジネスとグローバル・スタディズ(北米分野、中国分野)の2課程を置く。ほかに留学生と日本人学生が共に学ぶ日本研究コースも設ける。採用が内定した専任教員は42人。そのうち外国人はアメリカ、カナダ、中国、台湾、韓国、ロシア、ポーランド、ブルガリアの8カ国から計27人となっている。初年度は独自の入学試験を実施、2年目以降はセンター試験を導入する予定だ。

【国際教養大学が提供予定の特徴的な科目】

- 英語集中課程(EAP ※学術目的のための英語)
- コンピュータリテラシー
- 日本語表現スキル
- 日本語学概論
- 人口学
- マクロ・ミクロ経済学
- 紛争予防外交論
- 芸術・芸術論(音楽と演奏)
- 宗教論
- 文明論
- アメリカの政治システム
- 日本の対米政策
- マスメディアと社会
- 日本のビジネス文化
- 企業戦略論
- 中国政治経済
- 華人経済論
- 現代中国の映像芸術と社会
- 現代中国ビジネス事情
- 国際マーケティング論
- サービス産業論
- 産業・技術論
- 国際環境科学

は秋田をはじめあらゆる地域で活躍してくれたら、と思うのです。

中嶋 長期的には秋田県に対しでも十分お返しができる大学を築いていきたいですね。若者は思いがけない可能性を持っていますから、彼らの夢を大いに伸ばしてやりたいと思います。

寺田 新人生は開業全寮制、森の中のキャンパスライフも素晴らしいでしょう。新しい世代がそこからの世界へ、さまざまなことを発信してくれれば、ますますいいと思います。(司会)川口優香里 朝日新聞掲載中。オルゴールの音(エッセイ)

平成16年4月開学予定

国際教養大学

Akita International University

国際人になるための扉を開いてみよう

第2回 キャンパスツアー

日時

7月19日 AM11:00~PM3:30

主な内容

模擬授業 (英語での授業が体験できます)

入試概要説明 ●学長予定者講話 ●留学先大学紹介ビデオ上映 ●キャンパス見学 ●進学相談

場所

国際教養大学キャンパス予定地・プラザクリプトン

(JR奥羽本線和田駅下車、タクシー約7分)

参加対象者

高校生、保護者の方など、どなたでも参加いただけます。【参加無料】

※事前申し込みが必要です。また、県内各地からバスによる無料送迎を予定しています。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

●大学までの主なアクセス

【仙台から】秋田新幹線こまち/JR仙台駅 → JR秋田駅 (約2時間30分)

【東京から】飛行機/羽田空港 → 秋田空港 (約50分)

秋田新幹線こまち/JR東京駅 → JR秋田駅 (約3時間49分)

【大阪から】飛行機/伊丹空港 → 秋田空港 (約1時間25分)

関西空港 → 秋田空港 (約1時間30分)

●JR秋田駅から車で約30分

●秋田空港 I.C. から車で約3分

●JR奥羽本線和田駅から車で約7分

●秋田空港から車で約5分

●入試日程 (予定)

	試験科目	出願期間	入試日
A O 高校生留学誘致 推薦入学	面接・小論文	12月10日(木) ~29日(月)	1/7(木)
特別選考 男女別			2/14(土)
前期A 一般入試	国・英・社	1/7(木)~1/16(金)	2/1(日)
前期B	国・数・英・理・社		2/14(土)・2/15(日)
後期	英・小論文	2/18(木)~2/27(金)	3/20(土)

※正式な入試日程は、事務局へ直接お問い合わせください。

●お問い合わせ

秋田県企画振興部

国際教養大学設置準備事務局

〒010-8572 秋田県秋田市山王三丁目1-1

TEL.018-860-5451/5452 FAX.018-860-54

URL <http://www.pref.akita.jp/gakujutu/kokusai.t>

E-mail intluniv@pref.akita.jp